



平戸梨丘

発行：横浜市立平戸中学校 校長 阿部 亮一
横浜市戸塚区平戸町993-4 TEL045-823-8272

不易と流行

こう ちょう あべ りょういち
校 長 阿部 亮一

雨に濡れたあじさいの青や赤がひととき美しい6月になりました。3年生は無事、修学旅行（京都・奈良）を終え、今月、2年生が自然教室で山梨県西湖に、1年生は鎌倉遠足に出発します。また、5月26日（金）には心地よい初夏の風が吹く中、第58回体育祭を実施しました。今年も半日開催となりましたが、日頃の学習成果を発揮するとともに、学級や学年の輪を深めることができた学校行事となりました。当日は多くの保護者の皆様にお越しいただきました。教職員一同感謝申し上げます。

さて、3年生は修学旅行で「能」のワークショップを体験しました。「能」は室町時代から700年近く続いてきた伝統芸能です。当日は「能」の歴史を学び、面や装束、謡や囃子の体験に加え、ミニ公演の鑑賞など、普段経験できない1時間となりました。「能楽おもしろ講座」講師の河村先生は、ワークショップの中で「能が700年近くも続いている秘密」についてもお話されていました。その秘密の一つを、「能」という伝統芸能の真髄を守りながら、時代ごとに少しずつ変化させてきたからだと説明していました。まさに「不易と流行」だと思います。「能」はエンターテインメントの一つと言えます。伝統芸能でありながら、ミュージカルのように観る人を幸せにする工夫を少しずつ考えてきたからこそ、何百年にもわたって「能」が愛されてきたことに気づくことができました。

これから子どもたちが活躍する社会は、私たちが経験したことのない速さで変化していくといわれています。「能」のような伝統芸能は私たちの心を豊かにしてくれます。豊かな心、豊かな人間性など、時代を超えても変わらない価値あるもの（不易）を大切にしながら、時代の変化とともに変えていく柔軟な考え方（流行）は、今もそしてこれからも私たちに求められていくものだと思います。インターネットやSNS、AIの普及で、人と人が直接コミュニケーションをとることが少なくなったことも、ある意味では「流行」かもしれません。しかし私たちが大切にしていかなければならない「不易」は、豊かな心を持ち続け、人と人とのかかわりを大切にすることだと考えます。1、2年生の校外行事も含め、子どもたちには日々の学校生活を通して、「変わらないこと」と「変えていくこと」を意識しながら、新たな平戸中学校の伝統を築いていってほしいと願っています。私たち教職員も「不易」と「流行」双方を大切に充実した教育活動を行っていく所存です。どうぞよろしくお願いたします。